

3/1

## 心身障害児(者)父母の会が清掃

田布施町心身障害児(者)父母の会(丸尾洋会長)の会員が田布施川河川敷の清掃活動を行いました。

ゴミ拾いなどの清掃活動を通じて、会員同士の絆を深め、綺麗になった田布施川を見て、会員みんなで達成感を感じていました。

同会は、平成6年から地域社会への貢献を図ることを目的として清掃活動を続けており、今後も続けていきたいと話されていました。



2/17

## 長年の功労をたたえて

今津邦彦さん(石の口自治会)が厚生労働省から『障害者自立更生等厚生労働大臣賞』を受賞されました。また、皇居において、天皇陛下への拝謁も行われました。

今津さんは、平成19年4月から、『田布施町心身障害者協議会』の会長や『山口県身体障害者相談員』を務められており、障がい者支援事業に大きく貢献されています。



## まちのできごと

Tabuse  
Town News



## 今年、100年目の国勢調査です！

問企画財政課 企画係 ☎ 52-5803

令和2年(2020年)は国勢調査が実施されます。今回の調査は国勢調査が開始してから100年となる節目の調査です。100年を記念して総務省がこれまでの国勢調査をまとめた『国勢調査100年のあゆみ』を刊行しました。

国勢調査キャンペーンサイトや町立図書館で閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

調査にあたって、国勢調査員としてご協力をお願いをする場合がありますので、よろしくお願いします。



国勢調査2020

国勢調査2020キャンペーンサイト  
<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>



開始100年の国勢調査、はじまります

総務省統計局・都道府県・市区町村

## 2/20 高齢者のつどいが開かれました

老人クラブのイベント『高齢者のつどい』が開催されました。今年は約150名が来場し、昨年に引き続き『さわやか姑娘』の二胡演奏、軽音楽バンド『ゴールデンオールディーズ』の懐かしい曲で大いに盛り上がりました。

また前田布施町長・長信正治氏による講演会『平成をかえりみて令和を生きる』では、平成時代の町政の貴重な話を聞くことができ、皆さんは熱心に耳を傾けていました。



### サザンセット カップリングパーティー in 馬島の参加者募集

◇日時 6月7日(日) 午前9時30分～午後3時  
(受付開始 午前9時15分～)

◇集合場所 麻里府公民館

◇開催場所 熊毛郡田布施町大字馬島71  
(のんびらんどうましま)

◇参加資格

- ・男性 20歳～45歳の独身者で、柳井地域(柳井市・周防大島町・上関町・田布施町・平生町)に在住の人
- ・女性 20歳～45歳の独身者(住所不問)

◇参加費 男性、女性 各3,680円(昼食代含む)  
※別途、往復渡船料320円が必要です。渡船料は港にて渡船運航者へ直接お支払いください。

◇定員 男性、女性 各20人

◇内容

地元の魚介と野菜を楽しみながら交流するBBQ

◇申込締切日 5月29日(金)

※応募者多数の場合は、申込締切後に抽選となりますが、締切前であっても、募集を打切る場合があります。結果については、抽選後ご連絡します。

◇主催 柳井地区広域行政連絡協議会

◇協力 (一社)やまぐち定住促進県民活動ネットワーク・のんびらんどうましま

◇申込み・問合せ先

・企画財政課企画係 ☎0820-52-5803

・らくよりドットコムHP

(<http://rakuyori.com>)の専用申込フォームで予約する

私たちと人権シリーズ  
No. 135

### 成人式を迎えて

新成人

徳野 璃奈(矢蔵自治会)

この1月に晴れて成人式を迎え、ようやく大人の仲間入りができたことをとても嬉しく思います。成人式当日は、中学時代の友人や恩師の方々にお会いすることができ、思い出に花が咲く充実した時間を過ごすことができました。

中学校卒業後、柳井高校に入学し、部活動は吹奏楽部に所属しました。中学のころとは異なる部活に入部し、新たな環境で毎日たくさん刺激を受けながらの生活でした。初めて楽器を扱うことに対する苦労はもちろんありましたが、どのようにすれば人の心に届く演奏ができるか、会場で自分たちのサウンドで響かせることができるのか、目には見えない音を相手にどう表現するのか、練習練習の毎日でした。その中でもこの部活を通して学んだ事は仲間の大切さでした。みんなで同じ目標を掲げ、そこに向かい互いに刺激し

合い、コンクールに向けた厳しい練習、各イベントの企画や運営など、そこにはいつも仲間が存在がありました。仲間がいる事で楽しい事も、辛い事も、悲しい事も、嬉しい事も全て共有でき、本当に仲間がいなくて経験できないことばかりでした。本当にこの部を選んでよかったと思いました。

現在は看護学校に進学し、今年が最後の年となります。座学中心の勉強から病棟での実習も増え、これまでに沢山の患者さんを受け持たせて頂きました。同じ病気でも同じ状態にある患者さんは誰一人いません。みんな違う価値観、生活習慣、家族関係などを持っていて、患者さんに求められる看護とは何か。その人らしく生きる事をめざし、その人の人生の一部に関われる事にやりがいと大きな責任を感じています。20歳になり今後多くの困難に直面すると思います。

これからも多くの人と関わり、看護師を目指して、沢山の事を経験していきたいです。